



月刊バイブル（世界のベストセラー、聖書のトリビア）

第21号

発行:レムナントキリスト教会

価格:100円（送料込みで200円）

〔目次〕

- ◎聖書からのメッセージ:キリストは復活した エレミヤ
- ◎高ぶりを打ち砕く:進化論の誤り(17)「DNAの驚異的な構造は進化論を否定する」
- ◎箴言から学ぼう!:神さま(聖霊)の知恵を得るために
- ◎詩篇を読む:他の人に「善」を行っていくときに
- ◎キリストを信じた体験談:救い シャローム
- ◎聖書に関する偉人のことば:三浦綾子
- ◎ご案内:聖書贈呈、聖書通信講座

<聖書からのメッセージ>

キリストは復活した by エレミヤ

〔聖書箇所〕Iコリント人への手紙15:3,4

15:3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、

15:4 また、葬られたこと、また、聖書に従って三日目によみがえられたこと、

今回は、キリストは復活したという題でこのことを見ていきたいと思います。「イースター」ということばは聞いたことがあるでしょうか?キリスト教の祭日の一つで、日本語では、「復活祭」という言い方をします。何を記念した祭日か?と言うと、文字通り、キリストが死から蘇ったこと、復活を記念した祭日なのです。

世の中には多くの偉人、有名人がおり、それぞれ記念すべき日があります。たとえば、漱石没後100年などと、偉人が生まれた日や、亡くなった日を記念するものです。しかし、その人が死から蘇った日、復活を記念した記念日や、祭日など聞いたことがありません。そんな記念日を持っている人など歴史上、イエス・キリスト以外に存在しないのです。

そういう意味では私たちがそのことを信じるかどうかは別として、キリストという人に関しては、他の人と異なり、毎年、その復活した日が記念され、思い起こされている、そのことを知ってください。キリスト教会は、2000年以上、毎年キリストの復活を祝い、証言し、語ってきたのです。そして、このキリストの復活を信じるかどうか、じつは私たちが神を信じる、キリストを信じるという時、もっとも大事なポイントになる、エッセンスになる、ということも知ってください。

キリストは復活した エレミヤ

私たちがキリストを信じてクリスチャンになる、というとき、それは人生の大きな決断ではありますが、しかし、そのために、クリスチャンになるために私たちが行うべきことは、それほど多くありません。

具体的には上記聖書箇所を3点信じること、すなわちキリストが私たちの罪のために死なれたこと、さらに葬られたこと、そして死からよみがえったこと、この3点を信じた人がキリストを信じた人であり、神に受け入れられるクリスチャンなのです。

さて、とは言っても、このようにキリストが死から復活した、よみがえったと聞いて、「はいそうですか」とは、なかなか信じられないかも知れません。

<復活に関する聖書の説明>

そのように、そうは単純に信じられない私たちのことを配慮してなのでしょう？聖書の中では、私たちの立場に立ったかのような復活に関する説明やら、状況の説明がありません。これらを学ぶことは私たちにとって、益になるかも知れません。

<多くの目撃者>

上記コリント人の手紙を書いた使徒パウロは、イエス・キリストと同時代の人ですが、彼は上記記述に続いてこの復活したキリストの目撃者に関して記載しています。以下の通りです。

[聖書箇所] I コリント人への手紙15:4-8

15:4 また、葬られたこと、また、聖書に従って三日目によみがえられたこと、

15:5 また、ケパに現われ、それから十二弟子に現われたことです。

15:6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現われました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。

15:7 その後、キリストはヤコブに現われ、それか

ら使徒たち全部に現われました。

15:8 そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現われてくださいました。

ここでは、死からよみがえったキリストがケパ、すなわち使徒ペテロに現れ、さらにキリストの12弟子にも現れたこと、さらに500人以上の兄弟（男の信者のこと）たちに同時に現れたことが描かれています。さらにこの書を書いているパウロ自身が復活したキリストに会ったことが語られているのです。

そして、上記500人以上の兄弟たちの大部分は、この書が書かれた当時は生存していたことが描かれています。すなわち、もし、このキリストの復活という出来事に疑問を持つ人がいるなら、当時は、それらの人々の誰かに会って、この事実を確認することが出来たのです。

500人以上の目撃者、という数字は、物事の正否を決める裁判やら、有効な目撃者、証言者の数という視点で考えるなら、圧倒的な数であり、まったく有効な数字であることは覚えておいてください。普通の世の中の裁判では有効な目撃者が2、3人いれば、事実が正しいことを認定するには十分なのです。

そういうわけで、たしかに死者の復活などということは歴史的に有り得ない、とは普通の人の反応なのですが、しかし、このことに関して、神や聖書は何らの説明義務も果たしていない、と言うなら間違いです。我々が信じるかどうかは別として、神はこの復活に関して、必要な証言者も目撃者も十分備えており、必要な説明義務は果たされている、このことは知っておいて下さい。

神は荒唐無稽な、誰一人受入れがたいことを持ち出して、さあ信じろ、と我々に無理難題を語っているのではなく、このことに関する必要十分な証言者やら目撃者を与えてくださっているのです。

キリストは復活した エレミヤ

さて、キリストが復活するという事は、単にキリストがすごい奇跡の人だった、というキリスト個人の問題にとどまらず、じつは我々にも密接に関係する大事なことである、このことを知ってください。パウロは、上記のことばに続き以下のようにも述べています。

[聖書箇所] I コリント人への手紙15:14,17,19

15:14 そして、キリストが復活されなかったのなら、私たちの宣教は実質のないものになり、あなたがたの信仰も実質のないものになるのです。

15:17 そして、もしキリストがよみがえらなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今なお、自分の罪の中にいるのです。

15:19 もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。

上記ことばから分かりますように、もし、キリストの復活ということが事実ではなく、架空のことであるなら、聖書の言う「私たちの罪がキリストの十字架の死のゆえ、許される。」「その結果、死後の裁きや罰から免れる。」などとの約束はみな、実質のない絵空事となり、単なる絵に描いた餅、よく出来た作り話になるからです。

しかし、キリストの復活が事実なら、私たちキリストを信じる者たちも、キリストと同じ経験をするを期待出来るのです。すなわち、私たちも死んで終わりなのではなく、キリストと同じように、いずれ復活し、永遠の命を受けることを期待出来るのです。

<キリストの復活は預言されていた>

さて、キリストが復活する、ということは、偶然の産物とか、アクシデントということではなく、以前から聖書の中で預言されていた、いわば、神の計画通りの事柄であるということをお知らせしたいと思います。パウロは以下でこのことを述べています。

[聖書箇所]使徒の働き13:33,34

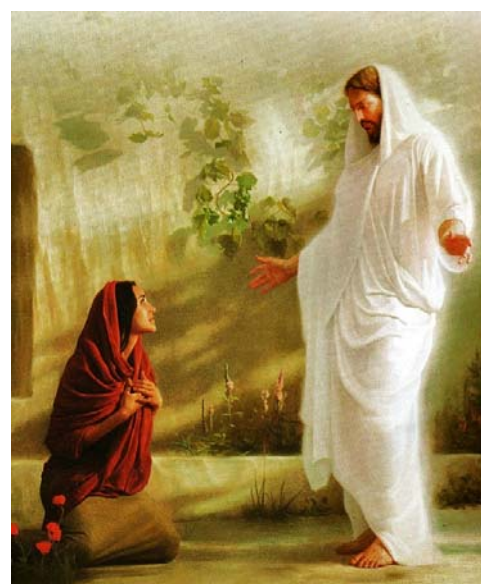
13:33 神は、イエスをよみがえらせ、それによって、

私たち子孫にその約束を果たされました。詩篇の第二篇に、『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ。』と書いてあるとおりです。**13:34** 神がイエスを死者の中からよみがえらせて、もはや朽ちることのない方とされたことについては、『わたしはダビデに約束した聖なる確かな祝福を、あなたがたに与える。』というように言われていました。

ここで、パウロはキリストより1000年も前の王、ダビデが書いた詩篇の中で、このキリストの復活を預言していた、と述べているのです。

このように、私たちが受入れるかどうかは別として、キリストの復活に関して聖書は、信じられない我々を考慮したかのように、確認をいくつか与えていることを覚えてください。

すなわち、それは1000年も前から聖書に記載され、預言されていた事柄であること、さらに実際に復活が起きたとき、それは、たった一人の人が見たあやふやな証言による、ということではなく、上述のように多くの圧倒的な数の証人やら、目撃者の前で行われたことなのです。この件は、また、機会を得て説明したいと思っています。



キリストは復活した

高ぶりを打ち砕く進化論の罣り(17)DNAの驚異的な構造は進化論を否定する

人はどこから誕生したのか？その問題に関して聖書は「神が人を創造した」と述べます。しかし、日本においては学校で進化論が教えられており、人は猿から進化したと説きます。では、その進化論は正しいのか？それをこのシリーズで見えています。

近年解明されつつあるDNAの驚異的な構造は、人間は偶然の産物であるとする進化論を否定するものです。

DNAは、暗号化された遺伝情報を持つ超分子です。それは、化学的な「建築用ブロック」の2本の長い「鎖」が対になったものです。ヒトではDNAのらせんが2ヤード（約1.8m）近い長さがありますが、太さは1インチ（約2.5cm）の一兆分の一以下です。DNAの機能は、フロッピーディスク上のコンピュータープログラムのようなもので、暗号化された情報を保存し、運びます。ヒトのDNAには、とても小さな文字がぎっしり詰まった500ページの本1000冊分の情報があると言われてます。DNA暗号は、どのコンピューターよりも遥かに精巧なものを作り出します。DNAとそれを取り巻く分子は、本当に素晴らしいメカニズムをなしており、小さな驚異です。その情報は非常にコンパクトに貯蔵されており、地球上の全てのヒトの遺伝情報に必要なDNAがアスピリン錠ほどの大きさに収まってしまいます。

*以下は、ノーベル物理学賞受賞者・素粒子研究の益川敏英氏（京大名誉教授）とノーベル生理・医学賞受賞候補者・IPS細胞研究の山中伸弥氏（京大教授）との対談からです。

山中:「ヒトは猿から進化したのか、それとも神が作ったのか」と訊かれれば、日本人はなんとなく「猿から進化した」というほうを信じますが、それには何の根拠も無いわけです。

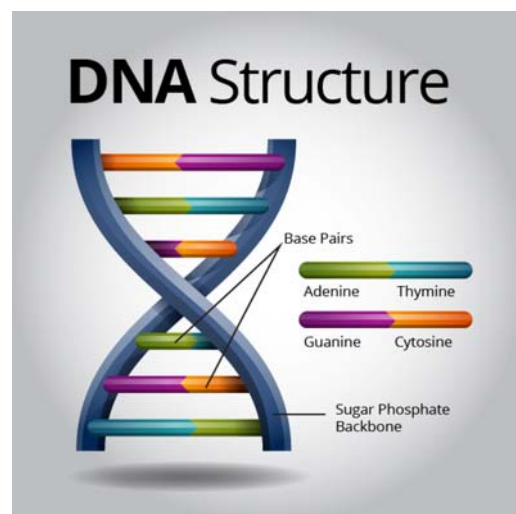
益川:ダーウィンの「進化論」では、個体に生じるランダムな突然変異によって生物は進化した、とされていますが、・・・（中略）・・・まだ、ダーウィンの「進化論」は実証されていませんから、まだ、どちらが勝つか分からない。

*遺伝子工学の権威として世界的に有名な、筑波大学名誉教授、村上和雄博士のコメントです。

「人の遺伝子情報は、わずか4つの塩基で構成され、この塩基のペアが約30億個連なっている。もしもこの塩基の配列を偶然のものとするなら、私たち一人一人は、4の30億乗分の1という奇跡的な確率で生まれてきたことになる。しかし、そのようなことは今の科学の常識では絶対に有り得ない。細胞1個が偶然に出来る確率は、1億円の宝くじを100万回連続して当てるのと同じようなものである。」

*チャン博士:DNAを解析したグループの科学者のコメントです。

「DNAの四つの分子の文字は、タンパク質のアミノ酸の並び方を伝えることにより、その情報を伝えているのである。たとえば、グルタミン酸は、GAGという三連文字により指示されている。その暗号解読表を見て驚くのは、細菌、植物から人間まで、すべての生物は、基本的には同じ暗号解読表を使っていることである。したがって、大腸菌から万物の霊長と言われる人間まで、すべての生物は、その遺伝情報を伝えるのに、同じA、T、C、Gという、たった4つの分子の文字と同じ暗号を使っていたことになる。これは、生物界における驚くべき統一性である。このようなことが、単に、偶然に起こり得るものであろうか？」



DNAのプログラムは、偶然に組まれたものではない

箴言から学ぼう！:神さま(聖霊)の知恵を得るために

〔聖書箇所〕箴言21:20

21:20 知恵のある者の住まいには、好ましい財宝と油がある。しかし愚かな者はこれのみ尽くす。

ここに、「知恵」とあります。ちなみにKJV訳では、「賢い」とか「分別のある」という風にかかれていています。

ここ最近、レムナントキリスト教会の午後の礼拝では、箴言から学びをしているのですが・・・その時にも、「知恵」ということが言われていましたので・・・よろしければ紹介させていただきたいと思います。以下、エレミヤ牧師によるメッセージです。

〔聖書箇所〕箴言2:1-6

2:1 わが子よ。もしあなたが、私のことばを受け入れ、私の命令をあなたのうちにたくわえ、

2:2 あなたの耳を知恵に傾け、あなたの心を英知に向けるなら、

2:3 もしあなたが悟りを呼び求め、英知を求めて声をあげ、

2:4 銀のように、これを捜し、隠された宝のように、これを探り出すなら、

2:5 そのとき、あなたは、主を恐れることを悟り、神の知識を見いだそう。

2:6 主が知恵を与え、御口を通して知識と英知を与えられるからだ。

ここに書かれている「知恵」とは、「聖霊の知恵」のことです。そして、3節以降にありますように、「もし～するなら・・・」とありますように、「聖霊の知恵」は自動的に得られるわけではありません。

つまり、「聖霊の知恵」を得るためには、私たちのほうで、求めていく必要がある、ということ言われています。

そして、イエスさまを信じて救われて、クリスチャンになって、「悟り」を得ていくなら、天国に入ることが出来ます。

そうなんです。「聖霊の知恵」というのは、クリスチャン生活&永遠の命に直結する、とも言えるのです。そして、「聖霊の知恵」に関して、求める人、耳を傾ける人は、得ることが出来ます。

それでは、聖霊の知恵を得るためには、どうすれば良いのでしょうか？簡単にまとめてみます。

①「私のことばを受け入れ、」とありますように、まず、神さまのことばを受け入れて、信じることです。

②そして、「私の命令をあなたのうちにたくわえ、」とありますように、神さまの命令を蓄えることです。

これらのことを実践していくときに、「聖霊の知恵」を得ることが出来るようになります。

以上のことをエレミヤ牧師が語られていたのですが・・・もし、「聖霊の知恵」を得たい！と思われましたら、あるいは興味がありましたら、ぜひ行ってみてください。



聖霊の知恵を得るために祈る

詩篇を読む:他の人に「善」を行っていくときに

〔聖書箇所〕詩篇15:0-3

ダビデの賛歌

15:1 主よ。だれが、あなたの幕屋に宿る(KJV訳:滞在する)のでしょうか。だれが、あなたの聖なる山に住むのでしょうか。

15:2 正しく歩み、義(KJV訳:公正、正しいこと)を行ない、心の中の真実を語る人。

15:3 その人は、舌をもってそしらず、友人(KJV訳:隣人)に悪を行わず、隣人への非難を口にしない。

「ダビデの賛歌」とありますように、上記のことはダビデが言われたことですが・・・まず、1節で「主よ。だれが、あなたの幕屋に宿るのでしょうか。だれが、あなたの聖なる山に住むのでしょうか。」という風に言われています。

そして、2、3節で、「正しく歩み、義を行ない、心の中の真実を語る人。」「その人は、舌をもってそしらず、友人に悪を行わず、隣人への非難を口にしない。」ということが述べられています。

つまり、神さまの幕屋に宿るためには、正しく歩み、そして、義を行って、心の中の真実を語り、そしらず、友人に悪を行わず、隣人への非難を口にしない、ということを言われております。

そうなのです。これらのことをそのまま実践していくときに、神さまの幕屋に宿ることが出来るのです。ちなみに礼拝の中で、こちらの箇所をメッセージされていた時にエレミヤ牧師がおっしゃっていたことですが・・・「幕屋」とか「山」は、物理的な意味合いの他に、「聖霊(神さま)の臨在」のことをも言われていまして、今回はまさにそういうことを言われております。つまり、神さまはどのようなタイプの人と共におられるのか?ということ、上記の節において述べられているのではないかなあ・・・と思います。

そのポイントは、正しいことを行って、真実を語ることです。そして、3節で言われているのも大事なことでして・・・このこともエレミヤ牧師がおっしゃっていたのですが・・・たとえどんなに相手の人に悪いことをされたとしても、しかし、悪口を言ったり、非難したり、悪いことを行ったりしないように心掛けていきたいと思えます。

そうなんです。これらのことを行っていったり、守っていく、というときに、神さまの幕屋(臨在)に留まることが出来る、ということ、こちらの箇所

では語っているのではないかなあ・・・と思います。そして、その結論に関して述べている箇所がありますので、よろしければ見てみたいと思います。

〔聖書箇所〕ローマ人への手紙2:6-8

2:6 神は、ひとりひとりに、その人の行ないに従って報いをお与えになります。

2:7 忍耐をもって善を行ない、栄光と誉れと不滅のものを求める者には、永遠のいのちを与え、

2:8 党派心(KJV訳:論議好き)を持ち、真理に従わないで不義(KJV訳:罪深い)に従う者には、怒りと憤りを下されるのです。

6節で、神さまがお一人一人に報いを与えられる、ということが言われています。それは、いつなのか?と言いますと・・・その前の節に、「神の正しいさばきの現われる日」ということが書かれています。このことは恐らくキリストの再臨の日のことを言われていると思います。その時に、「その人の行いに従って」とありますように、「行い」によって私たちは神さまから報いを受けることになるのです。

そして、どういう報いが用意されているのか?と言いますと・・・7節に書かれていますように、もし、私たちが忍耐をもって善を行なう(KJV訳:忍耐を継続して善を行なう)なら、「永遠のいのち」を得ることが出来るのです。

しかし一方、8節にありますように、党派心を持っていたり、真理に従わずに不義に従っていく、という場合に、その日、神さまからの「怒り」と「憤り」の報いを受けることになってしまうようですので、このことは、何が何でも、避けていきたいと思えます。

そして、どうしたらそのようなことを回避することが出来るのか?と言いますと・・・「忍耐をもって善を行ない」とありますように、他の人に対して、「善」を行うことを心掛けていきたいと思えます。もし、そうかも知れないなあ、と思われましたら・・・ぜひ、実践してみてください。



「善」を行うなら、死後、「天国」へ招待される

キリストを信じた体験談:救い シャローム

私はキリスト教とは無縁の家庭で育ちました。地域のどの家にも家の真ん中に作りつけの仏壇があり、仏壇が無い家は見たことがありませんでした。私は、仏壇を拝むことを特別強制されたこともありませんでしたが、特別な日には、拝んでいました。仏壇を拝むことに何ら違和感がありませんでした。

高校までは親元にいましたが、その後、上京しました。親元を遠く離れて一人暮らしの中で、だんだんと孤独感を感じるようになりました。親元にいた時は、自分を見守ってくれた両親もいました。しかし、東京に来てからは、人生の生きる意味も知らず、自分自身何を頼りに生きていくべきかを知らず、また、それを求めることもせず、ただ、自分の力が全てでした。生きていても心が満たされることがなく、いつも漠然とした不安とか空しさがあり、心の内は渇いていました。

その頃、私の同期の友人がしきりに教会へ誘ってくれました。色々なことに関して神さまから助けを受けられる、とのことでした。そのように教会のことに関して話を聞いたのは初めてのことでした。でも、教会という場所は私にとって、何となく抵抗感がありました。また、行くことには、自分自身とても葛藤がありました。でも、友人と何度か会っているうちに教会へ行ってみようという気持ちが少し起こされました。友人に教会へ行かなければ、いつまでも話が堂々巡りであると指摘され、渋々、友人の言うことを受け入れたのでした。今思えば、教会へ行くことが私にとって人生の転機となることだったので、逆にその時に（サタンからの）躊躇があったのでは？と思えています。その教会へ通い、夏にバイブルキャンプへ参加しました。そのキャンプの後半で語られた以下のエペソ人への手紙のことばが私の心に触れました。

〔聖書箇所〕エペソ人への手紙2:1-3

2:1 あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、

2:2 そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今

も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。

2:3 私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあつて、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

「空中の権威を持つ支配者」とは、この世において働く悪魔のことであり、キリストなき人生は、神から離れた状態で、悪魔の支配下にある、ということ私に理解出来ました。当時はまだ若く、聖書のことばもよく分からない中で、このことばが響いたのは今思うと、神の恵みだったと思います。

〔聖書箇所〕エペソ人への手紙2:8,9

2:8 あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。

とありますように、やはり、行いによるのではなく神からの賜物であり、神からの恵みだったのです。

2:9 行ないによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

私たちは生まれつきの良い行いによって救われるのではない、とは一見理解しがたいことのように聞こえます。しかし、よくよく自分の内側を見る時、神の言われる方法が唯一正しいと思えます。ですので、自分自身に弱さを覚えたり、人生に行き詰っていたりしても、失望することはありません。そして救われた後は、一人一人にたしかな道が備えられているのです。神が備えた良い行いの道を歩めるよう、神を恐れていきたいと思えます。



教会のキャンプで、キリストに出会った

聖書に関する偉人のことば:三浦綾子のことば／お知らせコーナー

<聖書と偉人>

作家:「氷点」をはじめとした多くの作品がある。



三浦綾子

私は13年もの長い病気もした。肉親や恋人の死にもあった。人間関係の悩みにもあった。だが、聖書を知ってからのそうした悲しみや苦しみは、以前の悲しみや苦しみとは全く別の意味を持つようになった。

<お知らせコーナー>

●聖書贈呈プレゼント！聖書通信講座！

月刊バイブルお読みになっていかがでしたか？少し、聖書に興味がわいてきましたでしょうか？このたび、当教会では聖書贈呈、プレゼントを行っています。この機会に聖書をあなたも読んでみませんか？また、ご希望の方には、聖書通信講座も開設しました。申込者全員へ、贈呈可能です。ご興味がありましたら、ぜひ、お申し込みください。

以下を記載の上、mail:truth216@nifty.com もしくは fax:020-4623-5255 もしくは tel:042-364-2327 へ連絡ください。

(1) 聖書贈呈に申し込みます。

(2) 聖書通信講座に申し込みます。

*ご希望の番号に○をつけてください。(複数可)

郵便番号:

住所:

名前:



見本

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日/午前 10:30-12:30,午後 14:00-16:00

場所:東京都、京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館 (tel:042-360-3311)

1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、「レムナントキリスト教会」の部屋を確認ください。

どなたでも来会歓迎、入場無料です。tel:042-364-2327, mail:truth216@nifty.com

★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。

尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>